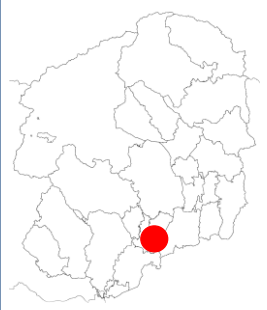
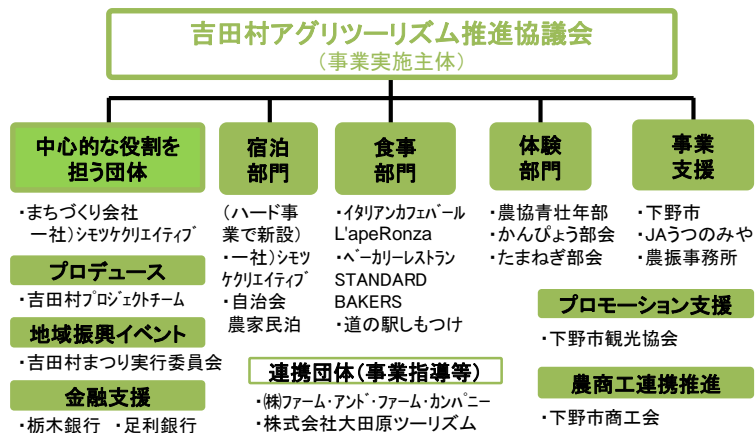


- 観光要素、宿泊施設が乏しい下野市において、歴史的な大谷石蔵を改修した宿泊施設を核に、体験提供、農家民泊や空き家の利活用で集落を活性化していく滞在型観光地を目指し、地域協議会を立ち上げた。
- 地域の若者達による農村における食と音楽のイベント「吉田村まつり」をはじめ、都市部に挟まれた立地条件を活かした、都市住民やインバウンド個人旅行向けの農業による体験事業を展開していく。

栃木県下野市



【実施体制】



【採 択 年 度】

平成30年度

【事業実施期間】

平成30～令和元年度

【特徴的な取組】

- 地域の若者が中心となり食と音楽のお洒落なイベント「吉田村まつり」を開催し、地域の農業と景観など魅力を発信。
- 都心から1時間半の距離に位置し都市部に挟まれた立地条件で、関東平野の平場を活かした農業を展開する地域のため、里山にはない広大な田園風景を活かしたサイクリングや苺など近代農業を駆使した施設園芸での農業体験。



吉田村まつり



ボタリング・サイクリング



いちご摘み体験

【取組内容】



地域の中心地にある大谷石を使用した歴史的な石蔵を宿泊施設に改修

昭和初期に建てられた地域のランドマークである農協の石蔵を活用し、ベーカリーカフェを併設する宿泊施設を計画している。農業体験事業と組み合わせて、滞在型観光を目指す。新設するベーカリーカフェ、既存の隣接する飲食店で地域協議会の農家などから食材の提供を受け、宿泊客に食事を提供する他、観光客だけでなく地域住民も利用しやすい施設とし、野菜直売や物販スペースを設け、六次商品などを展開し、地域の発信基地としていく。

インバウンド対応へ向けた取組・目標

平場を活かした施設園芸が発達する当地域は苺やトマトの先進農業者が多い。インバウンドのキラコンテツであるいちご狩りを中心にモニターツアーを実施し、言語、表示等の対策を検討していき、プログラムを構築し、インバウンドの誘客を目指す。



インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
WiFi	WC	¥			